

「ひびきの地区社会福祉協議会」は、地区住民が主体となって地域福祉活動に参加し、地域の中で助け合っていく住民組織です。市内には、社会福祉法人「北九州市社会福祉協議会」、各区の事務所（区社会福祉協議会）、そして小学校区・地区毎に155の地域の社会福祉協議会が設置され、地域の特色に応じた福祉活動に取り組んでいます。155番目に設置されたのが「ひびきの地区社会福祉協議会」です。

こんな活動を行っています

「みんなが安心して暮らせる支えあいのまちづくり」の実現に向け、「ふれあいネットワーク活動」や「ひびきのいきいきサロン」、「地域交流活動」などの事業に取り組んでいます。

・「ふれあいネットワーク活動」では福祉協力員（組長、社協・自治会役員等）、民生委員等が協力して、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯等を対象に安否確認や声かけなどの見守り活動を行います。



・「ひびきのいきいきサロン」では、高齢者の皆さんを対象にひびきの市民センターや大鳥居、小敷の公民館で健康づくりやレクリエーションなどの活動を通じて、気軽に集える楽しい場所づくりを進めています。また、市民センター主催の「いき生きライフ講座」でも健康づくりや日常生活に役立つ内容で開催して

いますので、高齢者の皆さんの参加をお待ちしています。

・「地域交流事業」では、今年度、ひびきの秋祭りのイベントの一つとして、地域のふれあい・交流を目的に、「ふれあいグラウンドゴルフ」をひびきの小学校のグラウンドで開催しました。ひびきのグラウンドゴルフクラブの皆さんの協力のおかげで、寒い中にもかかわらず、多くの家族の方々に参加いただき、子どもたちのホールインワンに歓声が上がっていました。

福祉計画の作成について

ひびきの地区は、子どもが多く高齢化率が低い地区です。しかしながら、全国的に少子高齢化に伴う様々な問題が出ている現在、これからも皆さんが安心して暮らしていける地域づくりのために、地域の関係者で話し合っ、これからの活動方針となる5カ年の「ひびきの福祉計画」を作成しました。今後、計画の内容についてお知らせしてまいりますので、皆さんのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

